



nite

National Institute of Technology and Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

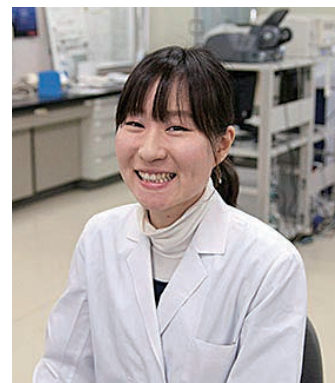
安全とあなたの未来を支えます

Safety and your Future with NITE



2030年の世界を一緒に覗いて見ませんか？

製品評価技術基盤機構（NITE：ナイト）では、役職員が経済産業省所管の行政執行法人（国家公務員）として、わが国の国際競争力の強化や国民生活の安全確保に貢献しています。



社会には、さまざまなリスクが潜み、それが顕在化して私たちに影響を及ぼしています。NITEは、社会に存在する安全や信頼性に関わるリスクを総合的に削減することを、その役割として期待されています。

NITEは、多数の専門分野を有する公的な技術者集団です。NITE職員の一人一人が高度な技術を有しており、信頼できる確かな技術情報を収集、分析する能力に強みを持っています。

●おもな専門分野

電気・電子・情報、機械、物理、化学、農学、建築、資源工学、医学・薬学、行政

NITEの歩み

- 1928年（昭和3年） 輸出絹織物検査所 設立
- 1948年（昭和23年） 繊維製品検査所、試薬品検査所、機械器具検査所、日用品検査所 設立
- 1984年（昭和59年） 通商産業検査所 設立
- 2001年（平成13年） 独立行政法人製品評価技術基盤機構 設立

NITEは、自分を活かせる職場、未知の分野にもチャレンジできる職場です。きっと「やりがい」を実感できると思います。2030年の世界（自分）を覗き見て、一緒にチャレンジしてみませんか。

『NITE長期ビジョン2030』 2030年にNITEが担うべき社会的役割について、変化する社会的ニーズを的確に捉えて長期的に進むべき2030年長期ビジョンを作成し業務を行っています。



安全とあなたの未来を支えます

Safety and your Future with NITE

NITEの基本理念

確かな技術と信頼できる情報をもとに
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けます

2030年の世界を一緒に覗いて見ませんか?	1
仕事と家庭、キャリアパス	3
職員の日 (One day of a staff)	5
業務紹介	
NITEの5分野	7
世界へ／国際的連携	12
企画管理／内部連携	13
戦略的な広報・情報提供	14
職員からのメッセージ	15
Q&A	21



東京本所の正面入口

バイオテクノロジーセンター 産業連携推進課
課長

平成19年入構 農学

川崎 浩子

Kawasaki Hiroko

平成元年 東京大学 文部技官 採用
平成4年 東京大学 文部教官 助手
平成9年 大阪大学 転任
平成19年 製品評価技術基盤機構 入構(転籍)
バイオテクノロジー本部 遺伝資源保存課 配属
平成24年 バイオテクノロジーセンター 生物資源課
平成25年 バイオテクノロジーセンター 国際連携室室長
平成26年 バイオテクノロジーセンター 調査官(企画担当)
平成27年 現職



バイオ産業に資する生物遺伝資源機関の日本代表としての役割を任せて

動機

前職は、大学からの専門性を活かし、教育の現場に勤務しておりました。子供が1歳になった頃、夫が関東に異動になり、約5年強の単身赴任生活がスタート。子育てと研究を両立する中で、自分の専門性を活かして、直接社会に貢献できる仕事がしたいという思いが強くなり、子供の就学時期に思い切って関東への転職を考え、技術を活かした行政事業を行うNITEに就職しました。NITEに勤務してからは、バイオ分野の、その時々ホットな課題に対応する部署に配属され、奮戦力投しつつ専門性のスキルも向上させながら毎日を送っています。



仕事



バイオテクノロジーセンターのミッションは、生物資源の活用により産業発展に貢献することです。産業連携推進課では、産業界の生の声を聞いたり、海外動向を調査して、日本のバイオ産業の方向性を予測し、業務活動を設定しています。これまでNITEが培った組織力と個人々の専門性をフルに活かしたマネジメントを心がけ、具体的には、外部企業との共同事業や、国家プロジェクト・国際プロジェクトへの参画をマネジメントし、産業貢献を目指して仕事をしています。最近では、産業界やバイオ研究者からの期待をひしひしと感じており、責任と同時にやりがいも大きく、仕事の励みになっています。NITEのバイオテクノロジーセンターは国際連携にも力を入れており、日本を代表する声として海外に発信する機会も多く、グローバル社会の中でNITEは一躍を担っていると自負しています。

休日

私は夫と高校生の息子との3人暮らしです。息子が小学生の頃は、職場近くの自然いっぱいの千葉県木更津市で過ごし、職場と自宅が車で15分という生活でした。休日は夫とガーデニングを楽しんだり、友人家族とのアウトドアやホームパーティなど、木更津ならではの生活を満喫しました。都内中学への進学を機に、木更津とNITE本所のある渋谷区西原の両方の職場に便利な都内に生活の場を移し、休日は、友人ともっぱら美味しいランチ巡りと果てない女子トークを楽しんでいます。好みの芸術作品を見つけると美術館や劇場に鑑賞に行ったり、最近では作品を作ることに挑戦しようと盆栽教室に通い始めました。「仕事と子育てを上手に両立されていますね。」と言われることが多いのですが、NITEという職場環境が、両方を後押ししてくれているように思います。



バイオテクノロジーセンター 解析技術課
主査

平成9年入構 化学

安宅 花子

Ataku Hanako

- 平成9年 技術部管理課標準物質室 配属
(当時、製品評価技術センター)
- 平成13年 適合性評価センター 標準物質課(NITE)
- 平成14年 バイオテクノロジーセンター 遺伝子解析課
- 平成21年 育児休業取得
- 平成23年 職場復帰、育児短時間勤務を取得
- 平成25年 バイオテクノロジーセンター 情報業務課生体分子解析室
- 平成27年 バイオテクノロジーセンター 安全・解析課(配置換)
- 平成28年 育児休業取得
現職(配置換)



「NITEは長く働きやすい職場」という先輩職員の手紙を信じて正解でした

動機

官庁合同業務説明会ではじめてNITEのことを知り、とても興味を持ちました。大学の先輩に話したところ、偶然にも女性のNITE職員の知り合いがいらしたので、厚かましいと思いつつメールを送りました。幸いすぐに返信があり、「女性が多い職場で長く働きやすいと思いますよ。」というメッセージに背中を押され、NITEへの就職を希望しました。出産を経験し、育児短時間勤務制度を利用している今、この先輩の手紙を信じて正解でした。

仕事



バイオテクノロジーセンターでタンパク質の解析業務を行っています。例えば、ケラチンというタンパク質で構成されているカシミアや羊毛などの獣毛繊維の解析を行って、偽装カシミアを鑑別する方法を開発しています。

また、アメリカの学会で発表する機会を得て、ノーベル賞受賞者との交流などの貴重な経験ができました。語学力に関しては、英語研修を何度か受講し、なんとか業務で使えるレベルにまで上達することが出来て大変感謝しております。

休日

土日は、近所の公園まで散歩したり、動物園に足を伸ばしたり、ほとんど子供と一緒に出かけしています。子供の視点で見ると同じものがまた違って見えてくるので新鮮です。

平日も育児短時間勤務のため、早めに帰宅し、保育園に迎えに行った後は子供と一緒に過ごしています。今は、将来、育児が一段落したらどのようなスタイルで働けば恩返しができるか考えているところです。

NITEは、自分のワーク・ライフ・バランスに合わせて様々な働き方が出来る職場だと思います。是非、一緒に働きましょう。



職員の日

Mori Ayumi 森 あゆみ



職務内容

私が所属している製品安全技術課では、身の回りの製品による事故の原因を調査し、結果を公表しています。その中で私は、化学に関連する案件についての調査を担当しています。製品は、すべて何らかの化学物質でできているため、接触皮膚炎の原因物質特定や割れたガラスの破面解析、折れたプラスチックや切れたゴムの組成分析など、幅広い分野の調査を実施しています。

調査の結果が公表されると、より安全な製品の開発に役立てられるため、国民の安全な暮らしに貢献できることに大変やりがいを感じています。

また、私が勤務している大阪事業所をはじめ、NITEには数多くの高度な分析機器が整備されています。現在の部署では調査を実施するうえで多岐にわたる分析技術が必要とされます。今後は、化学分野に限らず電気や機械など他分野の分析技術も習得し、常に信頼性の高いデータを提供できるよう心がけていきたいと考えています。

08:45

出勤。お茶を入れて本日のスケジュールとメールのチェックを行います。

09:00

業務開始です。本日使用する分析機器の状態を確認し、測定の準備をしておきます。

09:30

事業者から提出された事故報告書の内容について電話で聞き取りを行い、書類を作成します。

10:30

接触皮膚炎を発症した衣類の分析を行うため、衣類に含まれる化学物質を抽出し、測定サンプルを準備します。



12:00

お昼休みになりました。お気に入りのお店でランチをしながらおしゃべり。ほっと一息、気分転換します。



13:00

午後の業務が始まります。午前中に準備した測定サンプルをGC-MS、LC-MSという質量分析機器で分析します。



15:00

分析を実施している間に、事故原因究明手法開発のためのプラスチックの強度試験を行います。



17:00

グループ内で現在実施している試験内容の検討を行い、今後の分析計画を立てます。



18:00

分析の結果を確認し、明日解析を実施します。

18:30

試験器具などを洗い、後片付けをしたら今日はここで帰宅します。一日お疲れさまでした。夕食は何を作ろうかな。

職員の日

Sasaki Yuta 佐々木 優太



職務 内容

私たちの暮らしと産業は、多種多様な工業製品に支えられています。そしてそれらの工業製品は、製品試験を経て市場に供給されることにより、その品質が保証されています。製品認定課では、主に、製品試験を実施する試験事業者が、特定の試験を実施する能力を有するとともに、該当する国際規格に適合した運営をしているかを審査し認定しており、製品試験の結果の信頼性を確保することにより、暮らしと産業の手助けを行っています。

日常の業務は、試験事業者からの認定申請等に係る対応を中心としたデスクワークですが、認定審査員として、首都圏外の試験事業者の審査を担当するなど、出張する機会が頻繁にあります。

試験の対象となる工業製品は多岐にわたるため、業務を通じて幅広い産業分野の情報に触れることができ、大変恵まれた環境であると感じています。

07:30

おはようございます。駅まで歩いて行き電車に乗り、職場に向かいます。

08:50

始業は9:00からです。本日の業務の内容を確認しておきます。



09:00

10:30に認定申請を検討している試験事業者が相談のために訪問される予定であるため、会議室や資料の準備をしつつ、その他のメール又は電話でのお問い合わせに対応します。

10:30

認定申請に関する質問に対し、理解しやすく、かつ正確に回答することを心がけます。

12:15

昼休みです。執務室で持参した昼食をとり、午後からの業務に備えて休息をとります。

13:15

14:00より、試験事業者の認定に係る審議を行う委員会が開催されます。事前に資料内容の確認し審議内容を把握しておきます。



14:00

委員会では、各産業分野の専門家である委員の方々からの貴重なご意見を頂戴することができ、大変勉強になります。

16:30

認定審査員として、2~3ヶ月後に現地審査を予定している案件の、事前書類審査を行います。



18:30

切りの良いところで作業を中断しました。明日の準備をして帰宅します。

20:00

帰宅後、明日の仕事に備えて早めに就寝します。お疲れ様でした。

国際評価技術分野

こんな専門分野の職員が担当しています

電気・電子・情報、機械、建築、物理、化学、行政

先端技術の安全性評価とグローバルな取り組み

今後普及し発展する可能性をもつ、新しい技術を利用した製品・システムについて、NITEはその安全性や信頼性の確保に努め、さががけて社会に貢献していきたいと考えています。

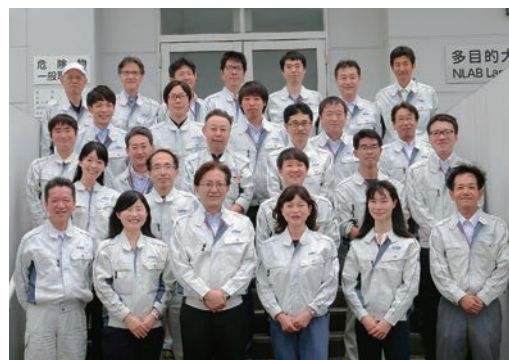


蓄電池評価センター〔NLAB（エヌラブ）〕
多目的大型実験棟（大阪事業所）
大型蓄電池システムの安全性試験準備風景

(1) 大型の蓄電池システム

従来の蓄電池は、スマートフォンやパソコンに搭載される小型のものが主流でした。近年では、太陽光発電等の再生可能エネルギーの変動抑制、電力システムの周波数調整、発電された電力の貯蔵、電力使用のピークシフトや停電時のバックアップを目的とした、スマートグリッド向けの大型の蓄電池システムが登場してきています。

NITEは、今後国内外で市場の拡大が期待されている大型の蓄電池システムについて、性能や安全性等の試験を行う世界最大級の試験・評価施設NLABの運用や関連する国際標準開発を進めています。民間や研究機関から依頼を受け、国際標準に基づいた試験・評価をNLABで行うことにより、大型の蓄電池システムの安全な運用を目指すとともに、大型蓄電池システム市場における日本の国際競争力の向上に貢献します。



NLABメンバー集合写真（多目的大型実験棟前）

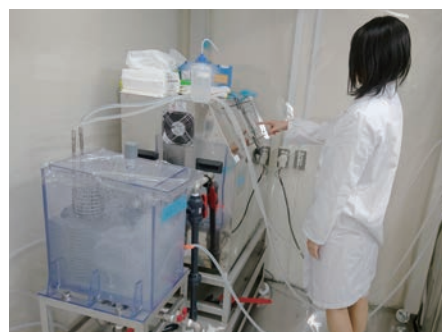
(2) ファインバブル

日本発の革新的な技術に「ファインバブル」があります。ファインバブルとは、液体中に存在する直径100 μ m未満の微細気泡のことです。ファインバブルは、電子産業、洗浄分野など、応用範囲の広さから大変注目されており、NITEはファインバブル製品の試験・評価方法開発や国際標準開発の一翼を担っています。

(3) 電力安全技術支援業務

平成28年4月から始まった電力事業の小売り自由化や、平成32年に予定されている発送電の分離といった電力システム改革により、今後は様々な事業者が電力供給市場に参入することが想定されます。

NITEは、電気工作物の保安水準を今後も維持できるように、事故情報の分析を行っています。また、国や関係団体等と密接に協力して、保安体制や規制制度の検討・整備に貢献します。



ファインバブルの測定準備風景